

諏訪地方の 経済概況 速報

2018.10

2018年9月末調査／2018年10月31日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

諏訪地方の概況

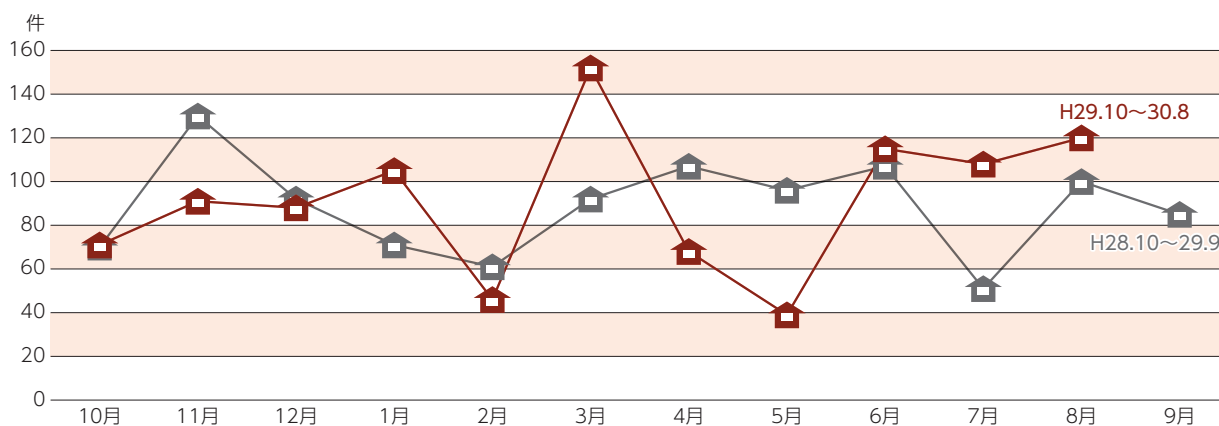
9月は、米国の鉄鋼追加関税発動から半年が経過したが、米中双方は第3弾の関税を発動し、貿易摩擦はさらに激化した。両国は互いの輸入の5～7割に高関税を課すことになり、日本メーカーには、米国向け製品の生産を中国から他国へ移管する動きも出ている。諏訪地方の製造業企業には足元で直接的な影響は少なく、総体的には堅調な受注状況が続いているが、一部で一服感も見られ、先行きの不透明感が強まっている。

国内では、二度の大型台風の到来と北海道胆振東部地震の発生が、各地に被害を与えた。北海道では大規模停電でインフラ機能が停止し、現地に拠点がある県内企業にも影響があった。月末の台風24号は、岳麓方面を中心とした諏訪地方への影響が大きく、土石流や河川氾濫、広域停電が発生した。農作物や生産施設をはじめ、商業、観光施設の客足に影響をおよぼした。

(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

| | | 実数 | 前年同期比 |
|---------------------------|----|----------|----------|
| 有効求人倍率【8月】(諏訪公共職業安定所管内) | | 1.85倍 | 0.20ポイント |
| 手形交換高【9月】(諏訪手形交換所扱) | 枚数 | 3,549枚 | △194枚 |
| | 金額 | 4,910百万円 | 516百万円 |
| うち不渡り発生状況 | 枚数 | 0枚 | 0枚 |
| | 金額 | 0千円 | 0千円 |
| 車庫証明取扱件数【9月】(諏訪地方合計) | | 995件 | 0.1% |
| 新設住宅着工戸数【平成30年4～8月】(諏訪管内) | | 450戸 | △2.4% |

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



製造業

「堅調な受注の一部に陰り」

全国的な景況は、足元では高水準だが、先行きは米中貿易摩擦や原油高などで慎重な見方が多い。日本工作機械工業会の発表では、8月の中国向け工作機械受注額が6ヶ月連続の前年割れで、外需も21ヶ月ぶりのマイナスに転じ、陰りが見られる。自動車業界では、貿易摩擦の影響でメーカーによって、中国への輸出に明暗が分かれている。また、急速に技術革新が進む自動運転の分野で、自動車産業とIT産業が歩み寄る合従連衡が相次ぐ中で、自動車のデータ不正問題が続いている。

こうした中、諏訪地方では、省力化機械関連などで高水準の受注が続く一方で、一時の勢いが減速してきた分野もある。また、消耗品、材料、ガソリンの値上がりによる収益面への影響も懸念されている。9月は、台風による停電で工場の操業が停止し、機械設備の故障は免れたものの、納期対応に追われた企業もあった。

| | |
|--|---|
| 金属製品 プレス、メッキ、熱処理など | 自動車関連を中心に、総体的に受注は堅調に推移している。海外向けエアコン関連も好調。ただ、中国向けの半導体関連は、米中の貿易摩擦の影響などで、やや動きが鈍くなっている。材料や燃料の高騰を懸念する企業が増え、「仕事量はあるものの、単価が安く、材料価格も上昇しているため利益に反映されない」という声もある。 |
| 一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など | 設備投資に伴い、幅広い分野からの需要がある省力化機械関連や自動車関連の受注が旺盛な一方、半導体関連などで減少が見られ、機械部品によって差が出ている。先行きの受注減予想もあるが、今までが良すぎで、これで普通になるという見方もあり、急激な落ち込みにはなっていない。海外で廉価な需要がある検査機関連の受注は安定している。ロボット関連は、部品が品薄で生産に影響している企業があり、部材不足による納期遅延、設計変更も続いている。 |
| 電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など | 総体的に受注は落ち着いているが、米中の貿易摩擦の影響で、中国向けの受注は厳しくなっている。ただ、通信基地局用セラミック部品は中国の5Gへの移行や4Gの在庫調整終了で、今後増加する見込み。半導体関連は車載系で受注が多い。プリンターの受注も安定している。原油高が懸案で、このまま続くと収益に影響が出る企業もある。 |
| 輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など | 自動車部品関連は、メーカーや車種によって受注状況が異なるが、総体的には安定している。中国向けのVWエンジン部品は依然好調に推移し、EPAワーマッションの部品加工の受注も増加している。ただ、各社の新モデルは、当初は好調だったが、息切れのケースが出てきているという見方もある。減速機は中国の産業機械向け、国内の省力化機械向けで好調が続くが、スマホ向けは売れ行きが減速している。船外機の受注は旺盛で、先行き増産となる機種もある。 |
| 精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など | 昨年ほどの勢いはないものの、総体的に安定推移している。自動車関連の角度センサーやコネクタは好調な受注状況が続き、安全運転のためのレーダーやセンサー類の需要もある。設備投資の増加に伴い、レーザー加工機などに向けたスキャンレンズの増加が期待されている。デジタル一眼レフカメラの需要はもうしばらく好調が続く見込み。計量器は産業機械向け、医療器向けで好調な受注が続いている。 |
| 製造業全般 | 漬物製造は、テレビでキムチの特集があり、急激に販売数が伸びた。漬物野菜で台風の影響はないが、北海道地震の影響で、流通に一部支障があった。味噌は、気温が下がり需要期に入った。即席みそ汁やはるさめスープなどの加工食品も堅調に推移しているが、物流コスト増につながる原油高が懸念されている。ニットは秋冬物はクリスマスまでがピークとなるが、現状での動きは鈍い。最近の受注傾向は季節の直前になるまで分からない状況となっている。 |

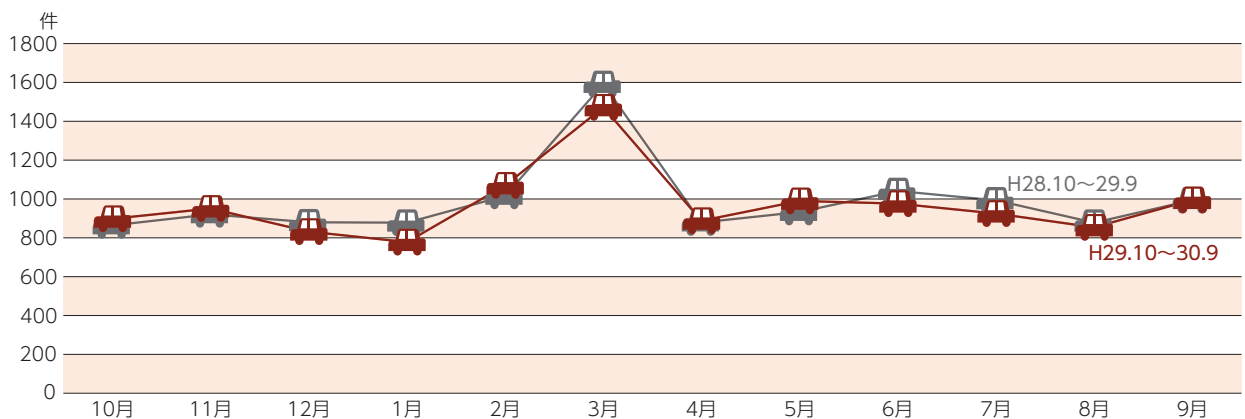
商 業

「天候が客足に影響」

9月は、降水量が平年の1.9倍となった天候や台風が、客足に大きく影響した。長野地方気象台の観測史上最も強い風速を記録した原村では、倒木による店舗破損の被害があった。三連休が雨の日が多かったため、飲食店などでは来店客数が減少し、団体の予約キャンセルもあった。一方、屋根つき駐車場がある施設や天候の影響を受けにくい店舗では、8月までの猛暑で企業や法事の予約が少なかった分、9月の予約が増加した。地元客だけでなく、県外からの旅行客や出張客が多く来店した。閉店や改修があった大型店の商圏では天候にかかわらず、受け皿となった既存店の来客数や売上が大幅に伸びた。ガソリン価格は上昇が続き、高止まりした。

| | |
|----------|--|
| 大型店 | 周辺状況によって来店客数の格差が顕著だった。台風の影響を受けなかった仕入れ先からの青果類の価格や品質は安定している。 |
| 食料品 | 台風の影響で、葉物野菜の価格が通常の1.5倍程度に上昇した。牛肉の仕入れは高値安定が続いている。 |
| 家電 | 暑さが落ち着き、エアコンの売れ行きは鈍化した。 |
| 自動車 | 諏訪地方の9月の車庫証明件数は995件で、前年同月比1件、0.10%増加した。西日本豪雨災害で工場が停止し、全国的に在庫が不足した。 |
| 飲食店 | 2度の三連休は、天候の影響で来店客が減少した店舗と、観光客を取り込んで増加した店舗の格差がある。 |
| 書店 | 前月に続き、コミックの売上が好調。DVDも好調で、安室奈美恵、サザンオールスターズが好調を維持している。 |
| コンビニ | 10月からのたばこ税値上げを前に、まとめ買いが目立った。 |
| 靴店 | 気温が涼しくなったことで、行楽シーズンに合った秋物ウォーキングシューズの売れ行きが伸びた。 |
| ガソリンスタンド | 県内のガソリン価格は3年10ヶ月ぶりの高値で、仕入れ値から販売価格の反映が追いつかず、利益を圧迫している。 |
| 野菜直売所 | 前年に不作だったキノコ類が今年は豊作で、買い取りの持ち込みや地元からの来店客が多く訪れている。 |

■車庫証明件数の推移



観光・サービス業 「台風でキャンセル相次ぐ」

9月の諏訪地方の天候は、月平均気温は平年並みだったが、秋雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多く、月降水量は平年よりかなり多かった。前月より気温が下がったことで、夏場に暑すぎて帰った別荘客が、温泉や紅葉目当てに再来訪する動きが見られた。しかし、8月の猛暑から一転して、週末に雨模様となった上、月末の台風24号が各地に大きな被害をおよぼし、2回の三連休の効果が薄れた。台風は、ゴルフ場へ土石流が流入するなどの直接被害をはじめ、倒木による停電で温泉を引くポンプの未作動や断水、冷蔵庫内の食料品ロスが起き、多くの予約キャンセルがあった。このため、自家発電機を導入する動きも出ている。

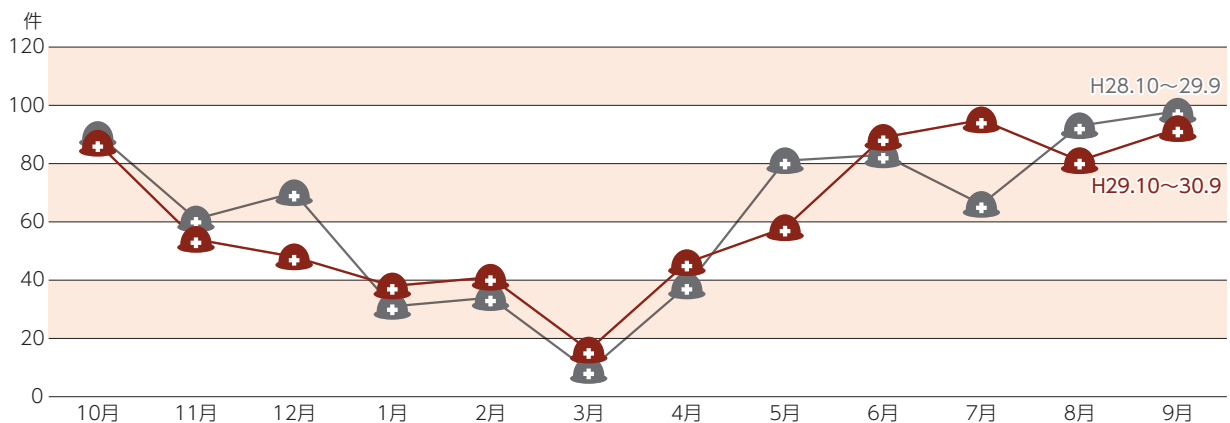
| | |
|------------|--|
| 上諏訪温泉 | 個人から団体まですべての構成人員が前年を上回った。東京、関東、東海方面が前年を上回り、堅調に推移した。インバウンドも前年同月を上回った。新作花火大会や2回の三連休などが増加要因。一方、月末の台風24号は上諏訪温泉で約500人のキャンセルがあり影響が大きかった。 |
| 下諏訪温泉 | 個人予約は堅調に推移しているものの、2度の台風でキャンセルが見られた。 |
| 蓼科・白樺湖・車山等 | 映画のロケ地巡りツアーやネットTVのロケスタッフの宿泊、はとバスツアーなど増加要因もあったが、台風の影響が大きかった。標高が高い施設は濃霧が発生し、屋外施設の入り込みに影響した。また、落葉が激しく、例年見られる色彩景観も懸念されている。 |
| 諏訪大社 | 上社・下社合わせた9月の参拝者数は約6万3千人。前年同月比では約6千人増加(9.9%)した。 |

建設業 「公共工事発注件数、累計で前年比減少」

9月の市町村からの受注工事は合計92件、827百万円となった。前年同月に比べ、件数は6件減少し、契約金額は93百万円増加した。国県関係の平成30年4月～9月の累計公共工事(地元業者受注分)は、前年度累計より件数、契約金額とも減少している。民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数が120戸で、前年同月比20戸増加(20.0%)した。4月からの累計では450戸で、前年より11戸、2.4%減少している。

| | |
|------|---|
| 公共工事 | 9月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所25件、諏訪地域振興局農地整備課3件、同林務課1件の29件で、契約金額は1,112百万円だった。平成30年4月～9月の累計は73件2,828百万円で、前年同期の累計比で件数は11件減少し、契約金額は594百万円減少(△17.4%)した。市町村からの9月の受注工事は、建築工事2件3百万円、土木工事および下水道工事67件661百万円、その他工事23件163百万円となった。 |
| 民間工事 | 諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は7戸減少の61戸、「貸家」は25戸増加の53戸、「分譲」は4戸増加の6戸、「給与」は2戸減少の0戸だった。長野県内の8月の新設住宅着工戸数は1,554戸で前年同月比53.3%増加した。前年同月比の利用関係別では「持家」が2ヶ月連続の増加、「貸家」と「分譲」は2ヶ月ぶりに増加した。 |

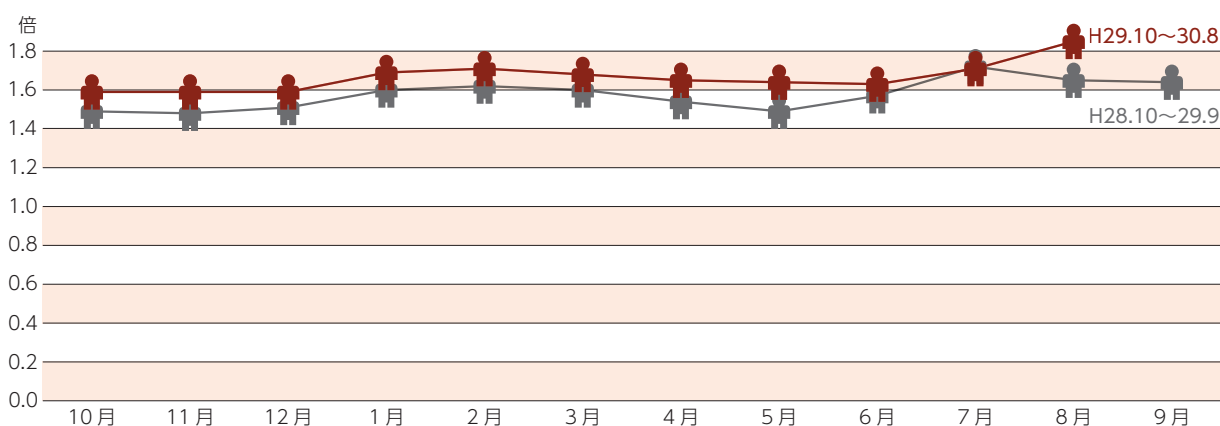
■公共工事の推移(市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く)



諏訪地方の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.20ポイント上回り、前月を0.14ポイント上回る1.85倍となった。61ヶ月ぶりに前年同月を下回った前月から一転、平成20年4月以降、初の1.8倍台となった。今年は8ヶ月連続1.6倍台以上の高水準が続いている。長野県平均は、前月を0.02ポイント上回る1.72倍で、14ヶ月連続で1.6倍台以上となり、50ヶ月連続で全国平均を上回っている。全国平均は前月と同じ1.63倍。完全失業率は前月比0.01ポイント低下の2.4%となった。

諏訪地方の新規求人数（全数）は1,925人で、前年同月比357人増加（22.8%）した。要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順。業種別の前年同月比の新規求人数は「生活関連サービス・娯楽業」「建設業」が増加し、「飲食店・宿泊業」が減少した。新規求職者数は662人で、前年同月比100人減少（△13.1%）した。1件10人以上の人員整理は0件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は24人で、前年同月より32人減少、前月より15人減少した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 海外でのエアコンの潜在需要はかなりある。生活水準が低い国は、自動車よりエアコンの需要が高い地域もある（金属製品加工業）。
- 西日本豪雨や北海道胆振東部地震の復興に伴い、受注が増加してきた（電気機械製造業）。
- 取引先によっては、一時の強気の姿勢が薄れてきている感がある（輸送用機械製造業）。
- 米国の自動車関税が引き上げられると、輸送費や部品の値上げも考えられ、今後の交渉が心配（輸送用機械製造業）。
- 店舗の災害対策の必要性を感じた（小売業）。
- 自動車の検査データ不正問題が報道されたが、顧客からの問い合わせはほとんどなく、逆風は感じない。過去に何度も同様な報道があり、顧客側が慣れてきている印象（自動車販売業）。
- 県の上期目標消化で発注は増えたが、落札しても人手不足で辞退する企業がある（建設業）。
- 増加する空き家の対策や遊休不動産の動きは鈍い（建設業）。
- バイクのツーリング客は1人1部屋希望で、昔のように夜遅くまで飲んで騒ぐ姿が見られなくなった（観光業）。
- 地震や台風の影響で、北海道、広島、神戸方面への旅行が敬遠され始めている（観光業）。

長野県の金融経済動向

(2018年10月1日) 日本銀行 松本支店

— 2018年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、住宅投資は横ばい圏内で推移し、個人消費は底堅く推移している。公共投資は弱含んでいる。この間、生産は高水準横ばい圏内で推移している。雇用・所得は、着実な改善が続いている。企業の景況感は、良好な水準を維持している。

生産

半導体関連・電子部品等では、データセンターや自動車向けの受注の強まりから、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

自動車関連では、国内外の需要動向を受けて、生産は堅調に推移している。

機械・同関連部品等では、計器は、建設機械、半導体関連向けなどで生産は高水準横ばい圏内で推移している。工作機械は、自動車や半導体関連の設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。成形機は、堅調な海外需要を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。バルブは、国内での設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

飲料では、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

設備投資

設備投資は、18年度は製造業を中心に前年度を上回る計画となっている。輸出は、18年度は前年度を上回る計画となっている。企業収益は、18年度は前年度を下回る計画となっている。

個人消費

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)や家電販売額は、底堅く推移している。新車登録台数は、持ち直している。

公共・住宅投資

公共投資は弱含んでいる。

住宅投資は横ばい圏内で推移している。

雇用・所得

雇用・所得は、着実な改善が続いている。

有効求人倍率は、上昇傾向にある。

雇業者所得、就業者数は、振れを伴いつつも緩やかに上昇している。

物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、18/8月は前年比で1%台半ばのプラスとなっている



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>